

令和5年度在宅医療的ケア児支援普及啓発シンポジウム アンケート集計結果

開催日時：令和5年6月9日（金） 13時00分～15時00分

会場：県民福祉プラザ4階 県民ホール

講師：淑徳大学 看護栄養学部 看護学科 助教 谷口 由紀子 氏（オンライン）

事例発表：はらくり訪問看護ステーション

日戸 明美 氏（オンライン）

多機能型事業所 ルアナ御幸町

富樫 沙緒里 氏

有限会社バーム 多機能型事業所リハステーションコウノトリ

荒川 志気 氏

参加者：39名

アンケート回答者：20名

[回収率：51.3%]

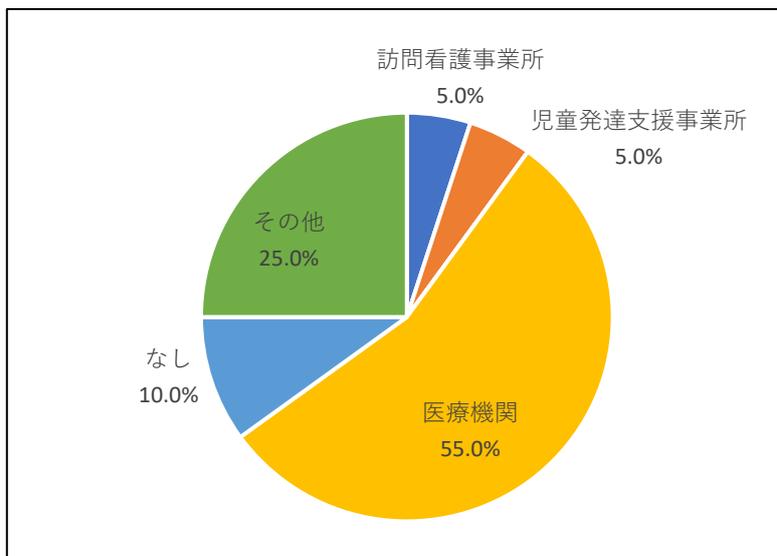
■所属

訪問看護事業所	1
児童発達支援事業所	1
放課後等デイサービス	0
医療機関	11
なし	2
その他	5

▼その他の所属

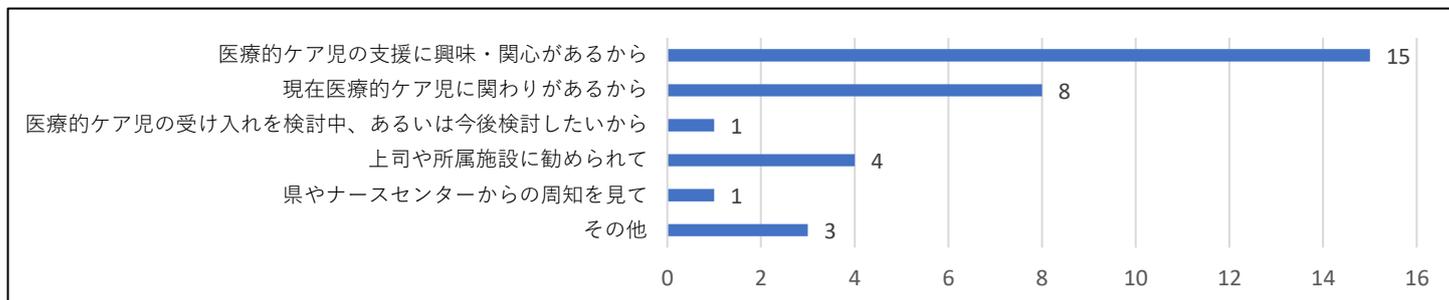
幼保連携型認定こども園

養護学校 等



■参加の理由・きっかけ（複数回答可）

医療的ケア児の支援に興味・関心があるから	15
現在医療的ケア児に関わりがあるから	8
医療的ケア児の受け入れを検討中、あるいは今後検討したいから	1
上司や所属施設に勧められて	4
県やナースセンターからの周知を見て	1
その他	3

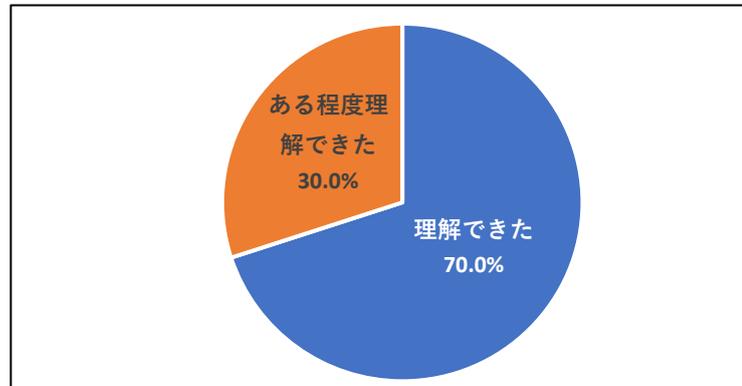


▼その他の理由・きっかけ

- ・ ナースセンターの勧め
- ・ 新卒の頃、ICU勤務していた時、退院後の自宅での家族の生活が気がかりだった記憶があり、今後自分にできることがあればと思った。
- ・ 医療的ケア児の保護者として青森県の現状を知りたいと思い参加させていただきました
- ・ 訪問看護では、高齢者や終末期の利用者が殆どだが、訪問看護とは別に小児から高齢者まで集える何かが出来ないかを考えており、医療的ケア児や家族も含めたケアの在り方を学びたいと思ったから。

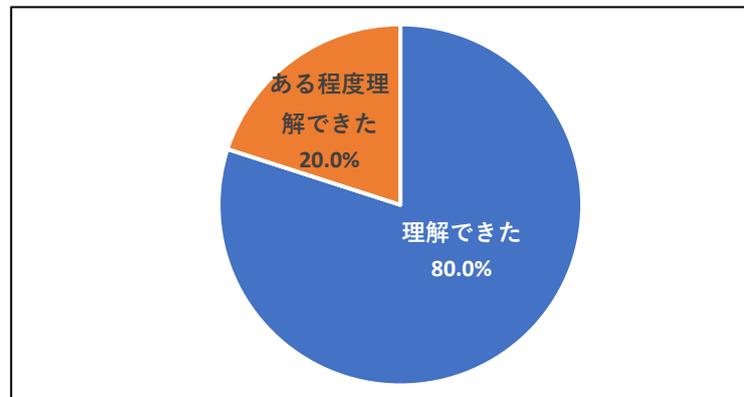
■講義について

理解できた	14
ある程度理解できた	6
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0



■事例発表について

理解できた	16
ある程度理解できた	4
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0



■今回の研修内容に対するご意見をお書きください

- ・ 現場の生の声が聞けて、非常に良かったと思います。
- ・ 今回の研修に参加させていただきありがとうございました。
看護師の処遇改善についてもっと詳しく知れたらと思いました。
- ・ 4月に小児科病棟に異動になり、初めて小児と関わることになりました。
医ケア児はどちらかと言うと少ないのですが、どんな活動をしているのかなど知ることができ、大変勉強になりました。
- ・ 学ぶの動作環境があまり良くないこと、入館時、退館時に時間が掛かるので、アンケート時間を別に設けたり、操作時間までもこれからは知らせていただきたいです。
- ・ とても勉強になった。感動しました。
- ・ 給料に関する問題提起を話してもらえたことで、みんなで声を上げる大切さを感じました。
- ・ 青森県でも医療的ケア児を取り巻く環境は日々変わってきていることを知ることができて希望が持てました。
地域で医ケア児とその家族が安心して暮らすためには様々な場面で看護師が携わっていることを知り、自分も何かできることがないか考えるいいきっかけになりました。とても有意義な研修でした。ありがとうございました。

- ・ 看護師の処遇改善と、医ケア児の看護ができる人材確保が課題となっていることを、再認識した。
- ・ 精神科看護に携わっていますが、障害受容についての視点ではとても考えさせられました。待つ姿勢を大切にしたいと思いました。小児看護は、成長を継続して見守ることができる魅力的な仕事だと思います。
- ・ 研修に参加させていただき、ありがとうございました。講義の谷口先生のお話には、共感できる内容が沢山あり、また家族との信頼関係を作り上げていく過程も大切だと理解しました。事例発表では、日々の素敵なケアや看護師の働き方、子育てをしながらの葛藤、収入面での忌憚ない発表が印象に残りました。とても勇気が必要だったと思いますが、声を上げていくことの大切さを改めて認識しました。
- ・ 看護師が1人でやっていたり、利用者が休むとその分の料金が入ってこないなど初めて知り、驚きました。医療ケアを行う上で家族との信頼関係やコミュニケーションが大事だということを改めて感じました。医療を必要とする在宅ケア児の訪問看護について色々知ることができました。
- ・ 今回このような研修に初めて参加させていただきました。実際の在宅での状況や働く側の状況を理解するきっかけとなりました。今後も、研修に参加させていただきます。
- ・ 谷口先生の講義はとても楽しく拝聴しました。私自身、医療的ケア児の保護者であったため様々な葛藤、苦勞を抱えておりました。谷口先生の言葉に共感することも多く、保護者の気持ちの寄り添ってくださることがうれしく思いました。現在、医療的ケア児の対応に従事しておられる方々の発表もたくさんのご苦勞が見られ、支援の難しさも感じるものもありました。皆様のご尽力にこれからも期待したいと思いました。

■今後、研修会で取り上げて欲しいテーマがありましたらお書きください

- ・ 今後も今回のようなテーマで出来たら嬉しいです…。
- ・ ファースト、セカンド、サードレベルのような長いものでなく、テーマを絞ったもう少し短めな管理研修をしてもらえたらありがたいです。
- ・ 多機能的な働き方とスキルアップ研修
- ・ セカンドキャリアについて。プラチナナースの働きかた。
- ・ 発達障害児支援について
- ・ 看護小規模多機能型居宅介護について学びを得たいと思っている。
- ・ 発達障害児の療育支援事業や施設、関わり方、ペアレントトレーニング等について
- ・ 訪問看護と地域連携についての勉強がしたいです。地域包括支援がうたわれる昨今、訪問看護の役割は大きなものになっているのではないかと考えます。医療資源の少ないこの青森県での訪問看護の役割のついて勉強したいと思います。

